

平成22年8月期 第3四半期決算短信

平成22年7月13日

上場会社名 株式会社 カワサキ

上場取引所 大

コード番号 3045 URL <http://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川崎 治

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長

(氏名) 堀田 義行

TEL 072-439-8011

四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第3四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第3四半期	2,095	△4.5	221	66.4	△29	—	△30	—
21年8月期第3四半期	2,195	—	133	—	△435	—	△77	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第3四半期	△24.56	—
21年8月期第3四半期	△59.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第3四半期	7,507	3,448	45.9	2,781.97
21年8月期	7,802	3,548	45.5	2,792.05

(参考) 自己資本 22年8月期第3四半期 3,448百万円 21年8月期 3,548百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	11.25	—	11.25	22.50
22年8月期	—	11.25	—	—	—
22年8月期 (予想)	—	—	—	11.25	22.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,673	△4.3	240	182.3	△32	—	△82	—	△65.46

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年8月期第3四半期 1,450,500株 21年8月期 1,450,500株

② 期末自己株式数 22年8月期第3四半期 211,024株 21年8月期 179,624株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年8月期第3四半期 1,252,854株 21年8月期第3四半期 1,308,709株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 平成22年4月7日に発表の業績予想を平成22年7月7日に修正しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間（平成22年3月1日から平成22年5月31日）におけるわが国経済は、一部景気回復の兆しがあるものの、企業を取り巻く環境は依然厳しく、個人消費の動向は生活防衛意識の高まりによる支出を控える傾向が続いており、低迷した状況で推移しました。

このような情勢下、当社グループの服飾事業におきましては前連結会計年度に引き続き新規取引百貨店の開拓を進めました。賃貸・倉庫事業におきましては前連結会計年度に取得した賃貸物件の賃貸先募集を進めましたが、当第3四半期連結会計期間の連結業績は売上高731,713千円（前年同四半期連結会計期間比8.0%の減少）、経常利益43,509千円（前年同四半期連結会計期間比83.8%の減少）となりました。以上の結果、四半期純利益は33,384千円（前年同四半期連結会計期間比77.5%の減少）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①服飾事業

当事業部門におきましては、前連結会計年度に引き続き直営店展開と新規取引百貨店の開拓を進めました。売上高は588,368千円（前年同四半期連結会計期間比11.4%の減少）、営業利益は47,461千円（前年同四半期連結会計期間比1.5%の減少）となりました。

②賃貸・倉庫事業

当事業部門におきましては、売上高は143,345千円（前年同四半期連結会計期間比9.7%の増加）、営業利益は55,959千円（前年同四半期連結会計期間比1.8%の減少）となりました。

③不動産仲介業

当事業部門におきましては、セグメント間の内部取引での売上高が5,090千円（前年同四半期連結会計期間比30.5%の減少）、営業利益は1,989千円（前年同四半期連結会計期間比16.6%の増加）となりました。

なお、平成22年8月期第1四半期に係る連結経営成績については、平成22年8月期第1四半期決算短信（平成22年1月12日開示）、平成22年8月期第2四半期に係る連結経営成績については、平成22年8月期第2四半期決算短信（平成22年4月12日開示）をご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて72,343千円（4.6%）増加し、1,638,121千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が66,660千円、受取手形及び売掛金が93,119千円増加したものの、商品及び製品が69,860千円減少したことによるものであります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて367,208千円（5.9%）減少し、5,869,127千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が263,344千円、土地が119,715千円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて439,061千円(17.4%)増加し、2,963,048千円となりました。この主な要因は、短期借入金が350,000千円、通貨スワップ契約等が186,498千円増加したことによるものであります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて633,768千円(36.6%)減少し、1,096,014千円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少648,291千円等によるものであります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて100,157千円(2.8%)減少し、3,448,185千円となりました。この主な要因は、自己株式の取得36,926千円、剰余金の配当28,241千円、四半期純損失の計上30,774千円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローに係る収入が149,258千円、投資活動によるキャッシュ・フローに係る支出が2,528千円、財務活動によるキャッシュ・フローに係る支出が365,384千円となったこと等により、前四半期連結会計期間末に比べて227,250千円減少し、339,772千円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益43,509千円、減価償却費43,566千円、たな卸資産の減少額50,451千円、通貨スワップ契約等が38,385千円増加したものの、売上債権の増加額52,651千円等により営業活動によるキャッシュ・フローは149,258千円の収入(前年同四半期連結会計期間と比べ114,112千円の増加)となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産取得による支出2,088千円等により、当第3四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは2,528千円の支出(前年同四半期連結会計期間は306,487千円の支出)となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出351,440千円等により当第3四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは365,384千円の支出(前年同四半期連結会計期間は255,090千円の収入)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、平成22年4月7日に公表した予想数値から業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成22年7月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	339,772	273,112
受取手形及び売掛金	315,035	221,916
商品及び製品	713,114	782,974
原材料及び貯蔵品	94,370	110,994
その他	177,519	178,215
貸倒引当金	△1,691	△1,436
流動資産合計	1,638,121	1,565,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,195,107	2,458,451
土地	3,333,657	3,453,373
その他（純額）	37,094	33,643
有形固定資産合計	5,565,859	5,945,468
無形固定資産	20,796	11,753
投資その他の資産		
その他	289,349	286,089
貸倒引当金	△6,877	△6,975
投資その他の資産合計	282,471	279,113
固定資産合計	5,869,127	6,236,335
資産合計	7,507,248	7,802,113

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,394	27,122
短期借入金	1,700,000	1,350,000
未払法人税等	5,674	5,587
賞与引当金	23,019	8,586
通貨スワップ契約等	778,950	592,451
その他	422,009	540,238
流動負債合計	2,963,048	2,523,986
固定負債		
長期借入金	740,710	1,389,001
役員退職慰労引当金	163,749	164,691
負ののれん	43,482	55,341
その他	148,072	120,749
固定負債合計	1,096,014	1,729,783
負債合計	4,059,063	4,253,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	468,338	468,338
利益剰余金	2,703,383	2,762,399
自己株式	△280,606	△243,679
株主資本合計	3,455,414	3,551,357
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,229	△3,014
評価・換算差額等合計	△7,229	△3,014
純資産合計	3,448,185	3,548,343
負債純資産合計	7,507,248	7,802,113

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)
売上高	2,195,344	2,095,909
売上原価	1,125,118	1,028,577
売上総利益	1,070,225	1,067,331
販売費及び一般管理費	936,862	845,452
営業利益	133,362	221,879
営業外収益		
受取利息	146	254
受取配当金	250	230
負ののれん償却額	11,858	11,858
その他	1,618	3,257
営業外収益合計	13,873	15,600
営業外費用		
支払利息	26,956	23,362
為替差損	550,168	239,419
その他	5,445	4,528
営業外費用合計	582,570	267,311
経常損失(△)	△435,334	△29,832
特別利益		
固定資産売却益	357,672	—
特別利益合計	357,672	—
特別損失		
固定資産売却損	—	36,045
特別損失合計	—	36,045
税金等調整前四半期純損失(△)	△77,661	△65,877
法人税、住民税及び事業税	1,929	1,756
過年度法人税等	14,767	—
法人税等調整額	△17,061	△36,859
法人税等合計	△364	△35,102
四半期純損失(△)	△77,297	△30,774

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	795,326	731,713
売上原価	382,931	346,443
売上総利益	412,394	385,270
販売費及び一般管理費	312,012	279,605
営業利益	100,382	105,664
営業外収益		
受取利息	2	71
負ののれん償却額	3,952	3,952
その他	364	1,985
営業外収益合計	4,319	6,010
営業外費用		
支払利息	8,427	6,299
為替差損	△177,834	60,232
その他	5,175	1,634
営業外費用合計	△164,231	68,165
経常利益	268,933	43,509
税金等調整前四半期純利益	268,933	43,509
法人税、住民税及び事業税	635	567
過年度法人税等	14,767	—
法人税等調整額	105,112	9,556
法人税等合計	120,516	10,124
四半期純利益	148,417	33,384

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△77,661	△65,877
減価償却費	112,700	135,214
負ののれん償却額	△11,858	△11,858
支払利息	26,956	23,362
為替差損益(△は益)	13,395	32,046
固定資産売却損益(△は益)	△357,672	36,045
売上債権の増減額(△は増加)	△79,048	△94,169
たな卸資産の増減額(△は増加)	△57,064	86,484
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,782	6,272
通貨スワップ契約等の増減額(△は減少)	522,962	186,498
その他	34,196	86,548
小計	125,122	420,567
利息及び配当金の受取額	396	484
利息の支払額	△26,483	△21,617
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△129,713	△1,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	△30,678	397,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△999,293	△37,675
有形固定資産の売却による収入	1,195,596	226,053
その他	△6,080	12,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	190,222	200,437
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△640,000	350,000
長期借入れによる収入	750,000	32,000
長期借入金の返済による支出	△206,900	△816,200
自己株式の取得による支出	△17,761	△36,926
配当金の支払額	△44,262	△28,241
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,923	△499,368
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,395	△32,046
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,773	66,660
現金及び現金同等物の期首残高	317,543	273,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	304,770	339,772

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)

	服飾事業 (千円)	賃貸・倉庫 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	663,878	130,726	—	722	795,326	—	795,326
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,523	7,320	—	10,843	(10,843)	—
計	663,878	134,249	7,320	722	806,170	(10,843)	795,326
営業利益	48,171	56,996	1,706	340	107,215	(6,832)	100,382

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シェニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業
- (4) その他の事業……………保険代理業

2 会計方針の変更

(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)により算定しております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)

	服飾事業 (千円)	賃貸・倉庫 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	588,368	143,345	—	731,713	—	731,713
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	2,921	5,090	8,015	(8,015)	—
計	588,371	146,266	5,090	739,728	(8,015)	731,713
営業利益	47,461	55,959	1,989	105,410	253	105,664

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シェニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業
- (4) その他の事業……………保険代理業につきましては平成21年3月末に廃業いたしました。

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)

	服飾事業 (千円)	賃貸・倉庫 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,817,523	376,666	—	1,153	2,195,344	—	2,195,344
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	9,843	65,477	—	75,351	(75,351)	—
計	1,817,554	386,509	65,477	1,153	2,270,695	(75,351)	2,195,344
営業利益又は営業損失(△)	△1,264	157,816	27,587	571	184,711	(51,348)	133,362

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業
- (4) その他の事業……………保険代理業

2 会計方針の変更

(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の服飾事業の営業損失が7,595千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)

	服飾事業 (千円)	賃貸・倉庫 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,695,169	400,739	—	2,095,909	—	2,095,909
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	9,141	18,386	27,559	(27,559)	—
計	1,695,200	409,881	18,386	2,123,468	(27,559)	2,095,909
営業利益	77,546	141,371	8,374	227,292	(5,413)	221,879

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業
- (4) その他の事業……………保険代理業につきましては平成21年3月末に廃業いたしました。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年5月31日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成22年5月31日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年5月31日)において、海外売上高がないため該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成22年5月31日)において、海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。